日蓮大聖人御書全集

四十九院御書（しじゅうくいんごしょ）

新版
2039

四十九院御書

建治4年（'78）　57歳

四十九院等のこと、彼の別当等は無智の者たるあいだ、日蓮に向かってこれを恐る。小田一房等、怨をなすか。いよいよ彼らが邪法滅すべき先兆なり。「根露るれば枝枯れ、源竭くれば流れ尽く」という本文、虚しからざるか。

弘法・慈覚・智証、三大師の法華経誹謗の大科、四百余年の間隠せる根露れ枝枯る。今、日蓮これを糾明せり。拘留外道が石となって数百年。陳那菩薩に責められ、石即ち水

となる。尼犍(にけん)が立(た)てし塔(とう)は、馬鳴(めみょう)これを頽(くず)す。臥(ふ)せる師子(ししょう)に手(て)を触(ふ)るれば瞋(いか)りをなす等(とう)これなり。